

# 平成〇〇年度 安全衛生方針（例）

平成〇〇年〇月〇日

とちのき運輸株式会社 社長 栃木 幸四郎

## I. 基本方針

安全は企業存続の根幹であり、社会的責任を全うしなければならない。  
我々一同は会社を挙げて、労使が一体となって安全衛生活動に取り組みます。  
安全衛生活動を充実し、PDC Aサイクルを回して安全衛生水準の向上を図っていきます。  
企業に働くすべての人の健康と命を守り、企業の繁栄を目指す。

## II. 目標

- \* 死亡災害ゼロ、休業災害ゼロ、不休災害の50%減。
- \* 労働安全衛生マネジメントシステムの認証を目指した安全衛生管理体制の整備。
- \* KY活動、ヒヤリハット活動、4S活動の活性化。
- \* 協力会社との安全作業連絡体制の確立。
- \* 荷主との連絡調整を密に行い、適切な走行計画の実施。
- \* 定期健康診断の完全受診。

## III. スローガン

『会社を支えるみんなの元気、危険を摘みとる力を集結し、築こう我が社の安全風土！』

## IV. 重点実施事項

No.	重点実施項目	ねらい
1	KY活動、ヒヤリハット活動、4S活動の充実	マンネリ、形骸化した当該活動を実態に即した内容へと脱皮を図る。
2	作業マニュアルの整備	抽出された危険の芽に着目し、従来の作業方法の見直しを図る。
3	フォークリフトを使用する作業計画の再構築	取扱いする商品の多様化により実態に沿わない内容となっている作業計画について再度構築する。
4	リスクアセスメントの定着	上記1～3で整備した内容についてさらなる危険源が無いかが検討し、リスクの削減に努める。
5	荷主及び協力会社との連携	運転者及び作業者が危険な環境に置かれられないように作業連絡体制の充実を図る。
6	長距離走行計画の見直し	時間外労働の削減、休息期間の完全な取得を図る。
7	有所見者に対するフォロー	健康が人間活動（社内外）の源であるから、有所見者の早期発見、早期治療に取り組む。